

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト
事業主体 (連絡先)	丸山まちづくり委員会 0265-49-0282
事業区分	2 地域づくり 1 魅力ある地域の創造と発信
事業タイプ	ソフト
総事業費	712,005 円 (うち支援金: 534,000 円)

事業内容

- 育苗管理・森林整備
植樹したヤマザクラの鹿による食害対策やヤマザクラ、カワラナデシコの播種、遊歩道整備を実施した。(5/19～2/23 計7回)
参加者 延べ59名
- ブルーベリー事業
防鳥網設置、草刈り、肥料散布、チップ撒き等を実施し、圃場管理を行った。(6/1～2/23 計11回)
参加者 延べ117名
丸山保育園児を招待して収穫体験を実施した。(7/11)
参加者 13名(丸山保育園児)
- 森林体験
次世代を担う小学生を対象に風越山麓公園において森林体験(ツリークライミング)、樹木観察会を実施した。(9/29)
参加者 22名
- 携帯トイレ普及啓発
購入した携帯トイレ等を設置して普及啓発活動を実施した。(9/1、10/28、11/9・10)
参加者 50名(丸山地区防災訓練参加者)
135名(上郷小6年生)
1179人(丸山地区文化祭参加者)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- カワラナデシコ及びヤマザクラの播種等を行い、地区の草木で地域を一杯にする取り組みが進んだ。また、夕源平の遊歩道を約60m延長することができ、遊歩道完成に近づいた。
- ブルーベリーを実際に収穫できたことにより、登山と組み合わせたツアーの催行に向けた準備が進んだ。今後は、ブルーベリーの販売やブルーベリーを食材とした飲食物の提供について研究を進めていく。
- ツリークライミング体験は、継続実施していることから人気イベントとして定着している。今後も継続し、将来、インストラクターとして地元で活躍する若者を育成していく。
- 携帯トイレの利用について、地元での意識が高まりつつある。特に、小学生に実施に使用してもらえたことは非常に有効であった。

今後の取り組み

風越山(かざこしやま)を中心とした地域資源の活用や発掘について、先進地視察及びワークショップ等による検討を行い、地域を元気にすることで持続可能な地域づくりを推進する。休耕田を活用したブルーベリーの植栽は、地域の産業興しの新たな資源として収益事業として地域経済の活性化につなげていく。



ブルーベリー収穫体験

【目標・ねらい】

- 交流人口の増加を見据えて、飯田のシンボルである風越山を中心とした観光客(登山客)を受け入れる体制作りを行う。
- 次世代を担う若者層の郷土愛を高める。
- 風越山の環境を守るための携帯トイレの普及啓発を行う。

※自己評価【 A 】

【理由】

ブルーベリー事業の推進により風越山を中心とした観光客の受け入れ体制づくりが大きく前進した。また、地元住民や小学生を対象とした携帯トイレの普及啓発活動を開始し、風越山の環境保全の取り組みと合わせて、郷土への愛着を深めることができた。